

【分科会分担分】

## 予算決算委員会 社会文教分科会座長報告

令和6年12月24日

予算決算委員会後期全体会

○ 議案第 143 号のうち、社会文教分科会の分担となりました部分及び議案第 145 号 議案第 146 号 の経過報告

○ 議案第 143 号「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案」のうち、当分科会分担分

○ 3 款 民生費、1 社会福祉費 4 目 老人福祉費の「上村デイサービスセンター運営事業費」に関し、

【質疑】2年前も上村デイサービスセンターの指定管理料を増額する補正予算案が提出され、社会文教分科会で説明を受けた。

その時の補足説明資料で「今後の施設運営」の方向性が示され、ケアマネージャーとの連携の強化、地域密着型への移行の検討等が説明された。また、この間に介護報酬改定等もあり、取得可能な加算もあったと思うが、これらについて指定管理者はどのように対応してきたか。

【答弁】地域密着型通所介護施設へ切り替えると、報酬単価が上がり、現在の利用状況から試算すると、収益が400万円から500万円程度増額すると見込まれるため提案してきたが、切り替えるためには定員を27人から18人に減らす必要がある。現在の利用者が1日20人前後のため、これをうまく調整できれば実現可能という回答を得ている。市としては地域密着型通所介護施設への切り替えを強く求めている。ケアマネージャーとの連携については、サ

ービスが必要な方の利用につながるよう毎年再確認の意味も込め指示している。また、取得可能な加算については、全て取得していると聞いている。

**【質疑】**今後、予測する高齢者人口数から、遠山地区のデイサービスの需要をどうとらえているか。

**【答弁】**令和2年度の遠山地区の後期高齢者数は659名だったが、現在の人口構成から推測すると、年度ごとに若干の増減はあるものの、徐々に減少していく傾向である。毎年ヒアリングを実施し、遠山地区のニーズをつかんでいく必要があると考えている。

○なお、

**議案第145号**

**「令和6年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）案」及び**

**議案第146号**

**「令和6年度飯田市病院事業特別会計補正予算（第1号）案」**  
に関して特に申し上げることなし。